

DAIS

パートナーシップに向けた  
ご案内

NPO法人DAIS



Diversity

Authentic

SHIKOKU  
SETOUCHI





**Diversity**  
多様性・異業種

**Authentic**   **Alternative**  
本物の                      新たな

**I**  
私自身のリーダーシップ

**Social**   **SHIKOKU**   **SETOUCHI**   **Sustainability**  
社会                      四国                      瀬戸内                      サステナブル

D・A・I・S 4つの頭文字からなる造語。

多様な人々が、今いる自分の枠組みを飛び出し、地域や社会に向き合うこと。  
まさに起きているリアルな課題に対し、解決の糸口はないかと力を合わせてチャレンジすること。  
そのプロセスを通じて徹底的に自分と向き合い、一人のリーダーとして成長すること。

DAISプロジェクトは、  
課題先進地域である四国・瀬戸内で、地域と企業、社会と人とのオルタナティブな関係を創る試みです。

# プロジェクト概要

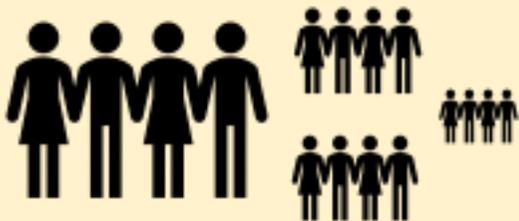
## MISSION

答申先から出された課題に対し、  
チームで提言を行い答申先に採択されること

プレゼンに対して評価やフィードバックを行う  
最終プレゼンの際は決裁者による  
ジャッジ（採択可否）も合わせて行う

提言は答申先の帰属となり、  
採択案については実装に向けてコミットする

## 参加者



4名～5名の所属/年齢/  
ポジション等も  
バラバラなチーム

× **8** チーム  
(答申先ごとに  
4チームずつ)

ケーススタディではなく、  
答申先自身が切迫しており  
答えを見出せていない  
ようなリアルな課題

← 答申テーマ

→ 提言

基本的に参加者自身で情報  
収集等を行い提言を作り上  
げる。中間2回、最終1回  
の計3回プレゼンを行う

## 答申先



社会性のある活動を行なっ  
ている団体、法人、自治体等  
で各期**2**団体と提携

プロジェクトを  
構成する  
2種類のプログラム

プロジェクト  
(課題解決)

フィールドワーク（現地調査）、キーマンへのインタビューなどの体験型プログラムに加え、中間プレゼン2回+最終プレゼンのプレゼンパート

リフレクション  
(内省・振り返り)

チームに1名メンター役（リフレクションパートナー）が帯同し内省支援を行う体験から得た気づきや学びを言語化するなど、振り返りに特化したプログラム

# プロジェクト概要

約2～3ヶ月の期間で全4回(計8日間)のセッションを実施。Session1～4を通して、「チームビルディング⇒中間プレゼンやフィールドワーク⇒最終提言⇒振り返り」までを行う。

Session 1	Session2	Session3	Session4
チームメンバーとの 初顔合わせ 答申先との出会い	答申先をもっと知る DAISでどう 成長したいか言語化する	提言とチームの 完成度をさらに高める	最終提言 DAISで得たものを 日常に活かすには？
合同開催 2日	担当の答申先ごとに開催 (日程・開催場所が別) 2日間	担当の答申先ごとに開催 (日程・開催場所が別) 2日間	合同開催 2日
<b>DAY 1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクト概要説明</li><li>チームビルディング</li><li>答申先の紹介</li><li>答申テーマの発表</li><li>質疑応答</li><li>DAY2プレゼンテーマ発表</li></ul> <b>DAY2</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ショートプレゼン</li><li>チームビジョン策定</li><li>チームリフレクション</li><li>個人リフレクション</li></ul>	<b>DAY1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>セッション1のおさらい</li><li>答申テーマを理解するためのプログラム等</li><li>チーム活動</li><li>フィールドワーク等</li></ul> <b>DAY2</b> <ul style="list-style-type: none"><li>中間プレゼン</li><li>プレゼンの評価</li><li>フィードバック</li><li>チームリフレクション</li><li>個人リフレクション</li></ul>	<b>DAY1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>中間プレゼン</li><li>プレゼンの評価</li><li>フィードバック</li></ul> <b>DAY2</b> <ul style="list-style-type: none"><li>答申テーマを理解するためのプログラム等</li><li>チーム活動</li><li>フィールドワーク等</li><li>チームリフレクション</li><li>個人リフレクション</li></ul>	<b>DAY 1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>最終プレゼンテーション</li><li>結果発表</li><li>最も評価が高かったチームによるプレゼン共有</li><li>フィードバック</li></ul> <b>DAY 2</b> <ul style="list-style-type: none"><li>最終リフレクション</li><li>ラップアップ</li><li>クロージング</li></ul>

※セッション2及び3は、それぞれの答申先別で行うため、その個別性に合わせた独自のプログラムやセッションを企画する予定。

## これまでの参画企業一覧（順不同）

住友重機械イオンテクノロジー株式会社

株式会社アドバンテック

高松帝酸株式会社

アビリティセンター株式会社

株式会社クリエアナブキ

株式会社ダイキアクシス

桑原運輸株式会社

日本郵便株式会社 四国支社

四国電力株式会社

NECソリューションイノベータ株式会社

パーソルキャリア株式会社

サイボウズ株式会社

貞光食糧工業株式会社

三浦工業株式会社

愛媛トヨペット株式会社

松山商工会議所

株式会社日立製作所

愛ファーマシー株式会社

株式会社STNet

国立大学法人愛媛大学

株式会社アイクコーポレーション

株式会社イージーエス

株式会社リクルート

穴吹エンタープライズ株式会社

住友重機械工業株式会社

四国アライアンスキャピタル株式会社

渋谷食品株式会社

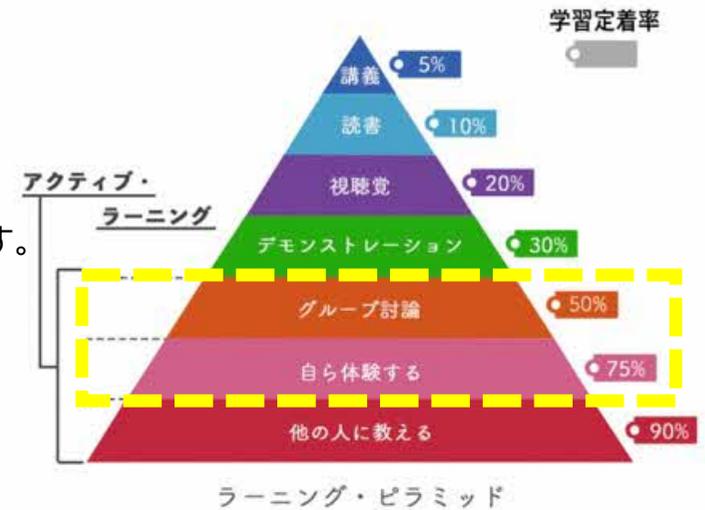
星企画株式会社

**他多数**

# 企業様への提供価値

## ①高い学習定着率

DAISプロジェクトは、「講義」に代表されるいわゆる座学研修とは異なり、「グループ討論」や「自ら体験する」を重点に置いたアクションラーニングです。参加者は、DAISでさまざまなことを体験します。そしてその体験から仕事や人生に活かすことのできる気づきや学びは何なのか。リフレクションプログラムやリフレクションパートナーからのフィードバックなどを通じて届けます。



### 垂直的な成長：意識の成長

リーダーシップ、メタ認知力  
(ex.OSのアップグレード)

### 水平的な成長：能力の成長

知識の獲得、スキルの上達  
(ex.アプリ追加)

## ②水平・垂直どちらの学びも網羅

多様な価値観を持つダイバーシティチームのマネジメント（他流試合）、会社や上司から与えられた業務ではなく、また、やりなれた仕事の延長線上でもなく、これまで相対したことのない課題に向き合うことで、正解のない問いに対し“自らの意志と論”をもって、課題設定・解決していくプロセスを経験いただきます。

### →水平的な成長

自らの行動や自身のあり方、チームへの影響を、個人やチームで振り返ることで、自身の強みや弱み・思考の傾向（クセ）をメタ認知することができます。

### →垂直的な成長

## ③CSR活動としての実績

課題先進地域・四国において、他社とのコラボレーションによって地域や社会に貢献しているという先駆的な取り組みが貴社の実績となります。



## ④企業同士のつながり

他社との協働・交流を通じた情報交換・ナレッジシェアの機会。行政や他事業者とのオープンイノベーションの可能性も。



定期的に行われる懇親会の様子

# 答申先様への提供価値

## ① 答申テーマに対する提言（ソリューション）

地元で活躍する人材（企業で働く次世代リーダーや学生）を、直面する課題とともに解決する仲間として活用することが可能に。

部外者だからこそその視点や本業で培われた専門性などを取り入れながら、課題解決に向けて貢献します。

**※最終提案の内容・精度については保証しかねます**  
**→団体を変えるような革新的なアイデアが出るとは限りません**



過去の最終提言の資料

## ② 人材成長（新しい視野・刺激）

普段接することのない人たちとの交流・プロジェクト協働を通じて、自分には無い視点や多様な価値観に触れ、学びの機会として活かすことができます。

## ③ 魅力の再発見・再創作の機会創出

ビジネスパーソンが目線で地域をフィールドワークすることで、地域・団体資源の再発見、再創作の機会になり新たな地域・団体の価値づけにつながります。

## ④ ファン獲得

課題解決のプロセスを通して、その地域・団体のことを深く理解・自分事化し、継続的な支援を行う人が増える可能性が高まります。

また、口コミにより参加者のつながりや、その地域や拠点を訪れる人が増える機会にもつながりやすくなります。



プロジェクト終了後、採択案について自主的にミーティングを行うチームも



フィールドワークの様子

# 答申先様へのお願い

## ①情報提供及び決裁者（代表者、首長など）の巻き込み

提言を立案するにあたっての各種情報提供をお願いいたします。

また実際の課題解決施策を提言する際（特に最終プレゼン）には、**決裁権（もしくはそれに類する実行力）のあるキーマ**  
**ンのご出席**をお願いしております。

## ②各チーム1名の参加

チーム内の情報密度・企業参加者の当事者意識醸成の観点から極力参加者（チームに1名、計4名）を出していただくようお願いいたします。**※参加費無料、答申先と当法人とは金銭の授受は一切発生しません。**

その際は、企業参加者同様「イチ参加者」としてミッション達成に尽力いただき、リフレクションプログラムを通じて気づきや学びを得ていただきます。

今の職場に対して気づき、感じるが増えた。（町に対して本気になって考えているメンバーに触れ、役場や職員はこのままでいいのか）



過去の答申先参加者の声

〇〇町に来て10年近くなるが、ここまで〇〇町のことを真剣に考えたことはなかった。

効果的なプレゼン手法やタスク管理について学べスキルアップに繋がりました。

## ③提供できるリソースのご協力

セッションの開催スペース（会議室やホール等）や研修備品のご提供など。

フィールドワーク中に移動が発生する場合は、可能な限り移動手段の確保、宿泊場所等の情報提供などご協力をお願いいたします。



現地で開催されたセッション



現地とリモートで中継

## APPENDIX

採択された答申が、町や団体の未来を少しずつ変えていきます。

### <2021年前期 愛媛県松野町>



高校のない町にDAISから提案した『松丸高校プロジェクト』改め『私たち立マツノイズム高校』。高校生たちだけで企画・運営した第一弾イベント『森の音楽祭』の開催や、制作したCMがふるさとCM大賞を受賞するなど活躍している。

### <2022年前期 高知県日高村>



答申テーマの拠点であった観光施設ミライエの新メニュー「イタリアン鮎釜飯」がリリース。連日TV やニュースなどで大きく取り上げられた。

### <2022年前期 愛媛県鬼北町>



プロジェクト終了後に行われた役場職員向けの説明会の様子。採択案を出したチームが改めてプレゼンテーションを行い、これから各部局の予算取りが始まる。

### <2021年前期 愛媛県久万高原町>



答申テーマであった「久万高原町らしい森林セラピー」のトライアル事業としてツアーが企画された。

### <2022年後期 徳島県つるぎ町>



つるぎ町オリジナルのRPGゲームを開発するべく1850万円が予算措置され、まずは町民を巻き込んでのストーリー創作のWSがスタート。もう一つの採択事業である「チャレンジショップ」も実施予定。

### <2021年後期 DaRETO (小豆島)>



プロジェクト終了後も、有志が中心となり会社のCSRとして答申先に関わり続ける事例も。テーマの舞台となったフィールドの整備の様子。

# 参加者アンケートから

一般的な座学などの研修では得られにくい気づきや学びが特徴です。

また、参加メンバーが次は事務局メンバーに志願するなど、個人の主体性が育まれます。

多様な顔ぶれながらも同じ志を持った仲間が集うサードプレイスとしてのDAISは、本業にも良い循環をもたらします。

## <メタ認知>

自分の強み・弱み、思考と行動の癖を理解している。

全員が  
「向上した」  
と回答

## <受容性>

自分の弱点や欠点に対する周りからのフィードバックに反応的にならず、自分の成長のために受け取ることができる。

97%が  
「向上した」  
と回答

## <挑戦 (ストレッチ)>

自分が苦手な行動スタイルやリーダーシップの取り方に積極的にチャレンジする意欲がある。

88%が  
「向上した」  
と回答

## <主体的行動>

積極的にイニシアチブをとり、指示や求めがなくとも行動に移すことができる。

88%が  
「向上した」  
と回答

## <役割理解>

自分の役割を理解し、積極的にそれを果たすことでチーム全体の前進を後押しすることができる。

94%が  
「向上した」  
と回答

73%が  
「意志がある」  
「積極的に協力したい」  
などと回答

単なる研修で終わらず、社会への関わりしるとして、事務局に参加するなど今後DAISに協力する意志はあるか。

## 参加者アンケート（フリーコメント）から

全行程が終了し、チームビルディングのビジネス書を読みながら、自分たちのチームは当時どうだったかを振り返れば、ビジネス書が読みやすく理解し易いものとなっていました。何ものにも勝る実体験ができたと感じています。また、濃密な時間を共にできた仲間から観た私は、日ごろ出会えない自分との遭遇であり、大事に育てていきたいと思いました。（金融）

最初は渋々参加したが、途中から四六時中DAISのことを考えるくらい熱中しており、自分ごととして考えてアイデアを出し、チーム全員で討論することやプレゼンの難しさ、楽しさに気づいた。（人材）

傾聴の重要性、リフレクションの重要性、みななにかしら熱いところがあった、自分の考えがいたってないだけで、身の回りにはビジネスチャンスがゴロゴロ転がっている予感、前進するためには時には鬼にならねばならない事、支えてくれる家族のありがたさ、講師、スタッフの皆様からは参加者への愛情のようなものを感じた。（林業）

課題解決のためには、当事者を超えなければならないという言葉がとても印象に残っています。地方自治体は、国、県からの仕事が多くあり、忙殺されがちですが、地域の課題解決のために、顧客（住民）目線で満足のいくサービスを提供するために考え、行動するために、DAISから学ぶことが多いと思いました。（行政）

私は技術職ということもあり、面識がある社員だけと共同作業（仕事）を行ったり、コミュニケーションをとっている。本プロジェクトで異業種でしかも全く面識の無い方々とのグループワークでは、全てが新鮮でなぜか客観的に自分をみる事ができた。その中で新しい自分の長所・短所、性格を知ることができ、自分の役割を探し出してその役割を実行することができた。（メーカー）

自分の価値観では考えつかないことに出会い、拒否感や違和感を乗り越えた先に見えた物が素晴らしくて、先ずは向き合い理解しようと努める事の大切さを学びました。（人材）

これまでは自分の考えを何とか理解してもらおうと説得（論破？）することに重きを置き、理解してもらえないメンバーには一線を引いてしまっていました。それでは良いチーム状態になり得ないことがわかりました。いかにメンバーの声を聴き、理解しようとするか、結果はどうあれ「何人も取り残さない」意識が重要だと学びました。（IT）

# これまでの経緯

住友重機械イオンテクノロジー(株)が主幹の任意活動

答申先

答申テーマ

参画企業

参加者数

2018年



西条市

西条市の関係人口をどう増やすか

4社

12人

2019年



株式会社ソラヤマいしづち

旅行業に相乗効果がある、粗利300万円を創出する2020年度(2020年4月~2021年3月)実施の新規事業を立案し、採択されよ。

6社

16人

2020年



愛媛FC

2021シーズン、1試合の観客数を平均4,000名まで戻すべく、コロナウイルス対策を講じる中での新たな集客施策を立案せよ!



愛媛マンダリンパイレーツ

地域プロスポーツにおける、「地域」「ひと」「球団」との共創により、地域課題の解決とビジネス目標(2023年12月までに売上2億円)が達成できる具体的な新しいプランを立案せよ

18社

44人



愛媛オレンジバイキングス

スポーツスポンサーシップにおいて、球団の既存の提供価値を見直し、地元企業が継続してスポンサードしたくなる、かつバイクスだからこそできる新たなスポンサー制度を考案せよ

# これまでの経緯

## 2021年5月 NPO法人DAIS設立

NPO法人DAISとして活動

### 答申先



愛媛県久万高原町



愛媛県松野町

2021年  
前期

### 答申テーマ

森林（林業）の観光分野への多面的活用策  
～森林セラピー等、  
森林の持つ可能性を生かした事業提案～

松丸商店街を、地元経済循環や交流の拠点として、住民や短期滞在者から長期滞在者まで楽しめる「ホテル松丸」の仕組みを構築されたい。

### 参画企業

15社

### 参加者数

44人



DaRETO

株式会社DaRETO



松山さかのうえ  
日本語学校

松山さかのうえ日本語学校

2021年  
後期

子どもが子どもらしく全力で遊べる PLT型  
フィールドをデザインせよ。  
PLT:Playing&Learning Tourism

助成金や寄付だけに依存しない、団体の活動理念に沿った持続可能な運営を実現させるための施策を立案せよ

17社

37人

# これまでの経緯

NPO法人DAISとして活動

## 答申先

## 答申テーマ

## 参画企業

## 参加者数

### 2022年 前期



高知県日高村



愛媛県鬼北町

地域住民の日常の交流拠点として、また訪れる人が「また来たい」と思う観光拠点としての、ミライエを中心とした能津地区のにぎわい創出

「鬼北で林業でもしながら生きていくのもありかも」というパラダイムシフトを起こさせる施策を提案せよ

19社

40人

### 2022年 後期



高知県梶原町



徳島県つるぎ町

梶原町へ新しい人の流れをつくる(2024年に交流人口326,000人/年にする)梶原町ならではの観光産業の在り方を提言せよ。

つるぎ町における生産年齢人口割合を高めるべく、「民間ならではのイノベティブな発想」で新たな定住促進施策を提言せよ

18社

39人

## これまでの経緯

### 答申先

### 答申テーマ

### 参画企業

### 参加者数

2023年  
前期



徳島県上勝町



香川県東かがわ市

2040年に1,000人! 四国で一番小さな町が生き残るための戦略として、『楽しく子育てができる町』子どもたちが大人になって帰ってきて子育てしたいと思える策を提案せよ!

2025年の大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭に向けて、東かがわ市が取るべき施策を提言せよ

14社

32人

2023年  
後期



愛媛県伊方町



徳島県東みよし町

「人口が減っても大丈夫」町に受け継がれてきた「合力(こうろく)」の精神をキーワードに、人口が減っても助け合いながら暮らせる、民間ならではの政策を提案する。

東みよし町の観光交流資源を活かした、時代を先取る儲かるプランを提案せよ。

19社

49人

参加者合計313名 事務局・関係者も合わせると、のべ約400名が関わる規模のプロジェクトに。

## APPENDIX

TVや新聞などの各種メディア、人事領域のアワードなどでも注目を集めています。



日経新聞



愛媛朝日テレビ 『ON&OFF～えひめリーダーの素顔～』にて特集



NHK松山 『ひめポン!』にて特集



日本の人事部「HRアワード2020」入賞



RNS西日本放送 夕方のニュースで放映

# 運営 NPO法人DAISについて

## 経営ボード（理事・社員）

2021年5月に設立、運営母体がダイバーシティなチームです。



**理事長 月原光国**  
住友重機械イオンテクノロジー株式会社  
代表取締役社長



**副理事長 巴山雄史**  
合同会社こっから  
代表社員



**理事 桑原達也**  
桑原運輸株式会社  
専務取締役



**理事 山名正英**  
株式会社アドバンテック  
代表取締役



**理事 大亀裕貴**  
株式会社ダイキアクシス  
代表取締役社長



**理事 坂本亜紀**



**監事 太田貴也**  
高松帝酸株式会社  
代表取締役社長



**社員 仏淵正人**  
NECソリューション  
イノベータ株式会社



**社員 清兼美枝子**  
二級建築士



**社員 高市美幸**  
株式会社ダイキアクシス



**社員 廣瀬恭文**  
住友重機械イオンテクノロジー株式会社



**社員 衣笠一步**  
住友重機械イオンテクノロジー株式会社

## プロジェクト事務局

一部のコアメンバーを除き、毎回顔ぶれが変わるプロジェクト型組織で運営。

参加した人々がDAISを“コモンズ（共有財）”として面白がり、自己表現としての“活動”や新たなキャリア観形成の場として繋がり続けることを意図しています。



最低限のクオリティ担保のため  
続投するコアメンバー

+

毎回顔ぶれが変わるPJTメンバー



数字でみる“コモンズ（共有財）”としてのDAIS

2022後期事務局  
過去参加者の割合

**91%**

2022前期参加者  
「今後事務局として  
関わりたい」

**73%**

SlackのDAIS  
コミュニティ参加

**137名**

DAISの名刺を持ち  
自主的に活動する  
OB・OG

**18名**

## 参画方法について（企業向け） ※答申先と当法人とは金銭の授受は一切発生しません。

年間契約としての「パートナー制」、一人参加することによって発生する「参加費制」のどちらかをご選択いただけます。但し、パートナーはそれぞれ申し込み上限があります。

### パートナー制

#### メインパートナー

人数：前期・後期合わせて10名  
費用：100万円/年  
単価：10万円  
申込：3社  
特典：当社HPにメインパートナーとして記載。  
また、プレスリリース等でも言及。

#### パートナー

人数：前期・後期合わせて5名  
費用：60万円/年  
単価：12万円  
申込：6社  
特典：当社HPにパートナーとして記載。

### 参加費制

#### ゲスト

人数：制約・制限なし  
費用：14万円/人

#### 大学生

人数：制約・制限なし  
費用：無料

### 留意事項

- ・上記費用に含まれるもの 会場、備品、プログラムに組み込まれた弁当や懇親会などの食費
- ・上記費用に含まれないもの 会場までの交通費、宿泊費、弁当以外の昼食や任意で行う懇親会等



## メインパートナー



## パートナー

